

予算特別委員会委員長報告（R3.3.22）

予算特別委員会に付託されました、
令和3年度 亀岡市 各会計予算について、
審査の経過概要と結果を報告いたします。

令和3年度予算は、市長から2月22日に
提案され、議会としては3月5日に予算特別委員会を
設置し、3月10日から6日間にわたり、
全体会 及び 分科会において審査を行いました。

各分科会では執行部に出席を求め、
順次説明を受ける中、真に市民のための
効果的な予算となっているかを第一に考え、
積極的かつ 慎重に審査を行いました。

審査では、終始活発に詳細な質疑を行い、
各部・室ごとの論点を整理する中で、
議論を深めていきました。

16日には、予算特別委員会全体会を開き、
各分科会において「なお疑義^{ぎぎ}のあるもの」
「掘り下げ調査すべきもの」
「議案の賛否に影響するもの」を抽出した
10項目に対する考え方等について、
市長に いただきました。

そして、17日には、各分科会委員長から
審査結果報告を受け、討論の後、全体会として
各議案の採決を行ったところであります。

これより、審査の結果について報告します。

まず、**第1号議案、一般会計予算**は、
コロナ禍において、地方財政を取り巻く諸情勢が一層厳しく、また、本市の財政状況も予断を許さない状況の中で、新たな総合計画スタートの年「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の実現を目指し、市民が主役のまちづくりを進めていくために、対前年度比10.4%増額の予算が編成されたものであります。

歳入面において、市税については、
新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会情勢の影響が、各税目におよぶことによる減額が見込まれており、市税全体として、対前年度比2.3%減額の97億7千万円となっています。

また、消費の落ち込みなどにより、地方消費税交付金の大幅な減収が見込まれますが、地方交付税や国庫支出金、ふるさと力向上寄附金の増収を見込むとともに、それぞれの事業における特定財源の確保など、できる限りの収入確保に努められています。

歳出面においては、行政ニーズが多様化し、
様々な課題が山積する中で、
「子育てしたい、住み続けたいまちへ」
「スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝く
まちへ」
「世界に誇れる環境先進都市へ」
「だれもが安心して暮らせる防災・減災、
セーフコミュニティ、多文化共生のまちへ」
「次代をリードする新産業を創出するまちへ」
を目指した 5つの重点事業を中心に、
予算が計上されています。

分科会審査を進める中で、予算特別委員会として
取りまとめた、市長質疑10項目の主な内容は、
1. 市長公用車として燃料電池自動車候補が上がっ
ているが、水素ステーションが亀岡市内にない中での
運用をどのように考えているのか。また、モーター工
学の研究を推進する京都先端科学大学との連携のも
と、市長公用車を選考する考えについて。

2. 市のPRを効果的に行うために、シティプロモーションをどのように生かしていくのか。また、ネットメディアの活用について。

3. 自治体SDGsの推進には、各施策の相互関連性を把握し全体最適化を実現する必要があるが、総合的に考えるための予算立てについて。

4. 人権啓発活動や文化センターの事業内容を、より開かれた、時代や市民ニーズに基づき見直すことについて。

5. ガレリアかめおかをどのように改修し、今後、どのように活用していくのかについて。

6. 高額な費用が見込まれる喫煙ブースの設置について、事業の目的に対して妥当な金額だと考えているのかについて。

7. こども宅食事業の主旨を踏まえ、個人情報の取扱いには、細心の注意を払う必要があるが、具体的な事業者選定方法や委託後の検証方法について。

8. サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業について、事業計画が不明確であり実態が見えないが、どのような事業を実施し、どのような事業効果を期待しているのか。また、市民ニーズを的確に把握しているのかについて。

9. 川の駅亀岡水辺公園整備運営経費及び桂川舟運歴史体験・展示施設河川アクティビティ等試行業務委託料について、どのような計画で事業実施していくのか。また、令和3年度で京都府からの補助がなくなるが、施設の返還を含めた対応を考えているのかについて。

10. かめきたサンガ広場周辺には、無料の駐車場がなく、広場を利用しにくい、無料駐車場の整備の考えについて。

でありました。

これらについては、一括答弁の後、再質疑を行い、予算の提案者である市長と、十分な議論に努めたところであります。

そして、討論では、
「京都中部広域消防組合負担金等の内容に反対する。」とした、反対討論がありました。

一方、
「事業の成果を期待する」
「シティプロモーションを活用した広報経費等、コロナ禍での的確な予算である」
「コロナ禍にあって人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡に向けた予算である」
とした賛成討論がありました。

討論の後に、採決を行い、採決の結果は
賛成多数をもって、**原案可決**すべきものと
決定しました。

なお、

○市長公用車の購入にあたっては、燃料電池自動車に固執せず、再度、寄附者と相談し検討されたい。

○文化センターで行う事業については、しっかりした計画のもと、適正に執行し、開かれた運営を行われたい。

○ギャラリーかめおかの指定管理者は、今後、一定期間で実績を上げられなければ、収益を上げられる事業者の幅広い募集を検討されたい。

○商工業振興対策経費に係るサンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業や観光推進経費に係る川の駅 亀岡水辺公園 整備運営経費について、担当部署は、しっかりと市長の思いをくみ取り、事業内容を的確に把握した上で、分科会で説明されたい。また、事業の広報については、市民に理解してもらうための取組をしっかりと実施されたい。

○必要な資料については、事前に提出されたい。

以上5点について、指摘要望するものであります。

次に、**第2号議案、国民健康保険事業特別会計予算**は、国民健康保険被保険者の疾病等しゅっぺいに関して、必要な保険給付を行うための経費であり、療養給付費、高額療養費が主な内容であります。別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第3号議案、休日診療事業特別会計予算**は、休日急病患者に対する診療事業を行う経費であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第4号議案、介護保険事業特別会計予算**は、介護サービス給付事業及び介護予防事業を行うための経費が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第5号議案、後期高齢者医療事業特別会計予算**は、後期高齢者医療制度に伴う事業を行うための後期高齢者医療広域連合納付金が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第6号議案、土地取得事業特別会計予算**は、先行取得に係る土地の買い戻しによる、売り払い収入を一般会計に繰り出しするものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第7号議案、曾我部山林事業特別会計予算**であります。山林等の管理に要する所要の予算計上であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第8号議案、水道事業会計予算**は、安全でおいしい水の安定供給を行うためのライフラインの機能強化として、王子加圧ポンプ場の築造工事をはじめ、老朽管耐震化工事などが主なものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第9号議案、下水道事業会計予算**は、年谷浄化センター改築工事をはじめ、同センターにおいて発生する消化ガスを再生可能エネルギーとして、官民連携により発電事業に活用する取組の円滑化を図るなど、環境にやさしいまちづくりを視野に入れ、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るための事業が主なものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第10号議案、病院事業会計予算**は、市域に唯一の公立病院として安定した医療を提供するための医業費用が主な内容であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第11号議案から第40号議案までの、亀岡財産区ほか29財産区特別会計予算**は、関係地域における自治振興のための助成金、山林等の管理に要する財産管理経費等の予算計上であり、別段異論なく、採決の結果は、**全30財産区特別会計** いずれも全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上が、本委員会に付託された議案の審査経過であります。

最後に、
新型コロナウイルス感染症の影響により、
社会・経済情勢は、一層不透明さを増しています。
このため、地方自治体の打ち出す各施策においては、不安を抱え生活する市民のため、より一層
適切で最良の選択が求められることとなります。
執行機関におかれては、このことを十分認識した上で、将来に渡り持続可能で、安定した行財政運営を
実施いただくことを強く望むものであります。

亀岡市議会としては、第17期議員の任期折り返しとなる本年においても、あらゆる世代が安心して暮らせるよう、議会及び議員活動に
全力を尽くすことを、改めて決意し、
予算特別委員会の審査結果の報告とします。